

# 講義科目1-1

## 獣医学概論モデル・コア・カリキュラム

### 全体目標

獣医学概論は、獣医学の役割と全体像を明確に把握することが目標である。概論では獣医学、獣医療、獣医師に求められる獣医哲学を学ぶ。獣医史学では人類と動物の関係における獣医事の歴史的考察と、日本の獣医学教育史を学ぶ。次いで現代日本における獣医師の使命と獣医療の概要、さらに諸外国の獣医師との比較論、国際貢献等を学習し、獣医師の社会的必要性和存在の意味を理解する。

### (1) 獣医学概論の理念

#### 一般目標：

獣医学概論の教育目的を明確に把握し、獣医師の社会的必要性を理解する。

#### 到達目標：

- 1) 獣医学概論の趣旨を説明できる。

### (2) 獣医史学

#### 一般目標：

海外および日本における獣医事の歴史的概要を修得する。

#### 到達目標：

- 1) 古代における動物と人類の関係、動物の家畜化と獣医療の発祥、軍馬の起源などについて説明できる。
- 2) 近代獣医学の発達過程を説明できる。
- 3) 日本の獣医療について発達過程の概要と特色を説明できる。

### (3) 伴侶動物獣医師の役割

#### 一般目標：

伴侶動物の獣医療に適正に対応できる獣医師の役割を理解する。

#### 到達目標：

- 1) 伴侶動物の疾病構造とそれに対する獣医療の概要を説明できる。

- 2) 伴侶動物診療獣医師の就業数と活動状況を説明できる。

### (4) 産業動物獣医師の役割

#### 一般目標：

産業動物の獣医療に適正に対応できる獣医師の役割を理解する。

#### 到達目標：

- 1) 産業動物の疾病構造とそれに対する獣医療の概要を説明できる。
- 2) 診療対象の産業動物の種類、頭数、分布および社会における位置づけを説明できる。
- 3) 産業動物の疾病と公衆衛生、食品衛生との関連を説明できる。

### (5) 行政獣医師、公衆衛生獣医師の役割

#### 一般目標：

獣医畜産行政、獣医公衆衛生および環境衛生の専門職として必要な獣医師の役割を修得する。

#### 到達目標：

- 1) 畜産・獣医行政（農林畜産、GAP、獣医事、薬事、公衆衛生、食品衛生、動物愛護等）の概要を説明できる。
- 2) 獣医疫学的重要性と概要を説明できる。
- 3) 獣医公衆衛生学の理念を説明できる。
- 4) 人獣共通感染症の現状を説明できる。

5) 食品衛生と HACCP (Hazard Analysis Critical Control Point) システムの概要を説明できる。

6) 公害の概要を説明できる。

## (6) 野生生物保全と獣医師

### 一般目標：

野生生物の保全、環境保全および野生動物の救護などに必要な獣医学を修得し、野生動物の保全と農作物被害の調整、ブッシュミートと野生動物貿易の問題について理解する。

### 到達目標：

- 1) 野生動物に関わる獣医学の概要を説明できる。
- 2) 野生生物の保全、野生動物救護獣医療の概要を説明できる。
- 3) 野生動物をめぐる国際的諸問題を説明できる。

## (7) 教育・研究分野および企業と獣医師

### 一般目標：

獣医師の多様な教育活動、広範な研究活動の概要を理解し、自己啓発の資源として修得するとともに、獣医師が就業している広範な企業における獣医専門職の現状と活動実態を理解する。

### 到達目標：

- 1) 獣医師の多様な教育活動の概要を説明できる。
- 2) 獣医師の多様な研究活動の概要を説明できる。
- 3) 多種の企業に就業している獣医師の概要を説明できる。

## (8) 獣医師と国際関係

### 一般目標：

獣医師の国際活動について現状を理解し、国際獣医学の発展に寄与する方法論を修得する。

### 到達目標：

- 1) 獣医学領域における国際的な活動の概要を説明できる。

## (9) 獣医学の隣接科学と獣医療関係職種

### 一般目標：

獣医学に隣接した科学（医学、歯学、薬学）および免許・資格・就業などの概要、さらに獣医師の職域分布、需給予測、診療対象動物数、獣医療補助職の現状と展望などを理解し、獣医師の適正配置、獣医師と補助職の協力関係について修得する。

### 到達目標：

- 1) 医学、歯学、薬学等の教育および免許、就業の概要を理解する。
- 2) 獣医師の職域と分布および対象動物の概略を説明できる。
- 3) 獣医療補助職の教育と活動状況を説明できる。

## (10) 獣医療サービスの質の保証

### 一般目標：

獣医療においても医療と同様に、獣医療サービスの質の評価と質の維持・向上が社会から求められていることを理解し、自ら質の向上に努めることの重要性を理解する。

### 到達目標：

- 1) 獣医療サービスの質の評価の重要性と維持・向上がどのようにして実現できるかを説明できる。